

第 76 回定期総会

吉田隆行 全国町村会長祝辞

本日ここに、全国町村議会議長会第76回定期総会が開催されるにあたり、全国の町村長を代表して、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、ご列席の各都道府県町村議会議長会会長、事務局長の皆様には、日頃より、地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに敬意を表する次第であります。また、全国町村会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

そして、先ほど、自治功労者及び他の範となる町村議会として表彰の栄に浴された皆様、並びに町村議会広報コンクールにおいて受賞されました皆様に対しまして、心からお祝い申し上げます。

さて、石破内閣では、「令和の日本列島改造」を掲げ、政府一丸となって「地方創生2.0」を推し進めているところです。こうした構想は、本会が繰り返し訴える「地方分散型の国づくり」や「都市と農山漁村が共生する社会の実現」と志を同じくするものであり、引き続き関連の施策を力強く推進していただくよう、我々町村が先頭に立って「楽しい」地方の構築に取り組んでいかなければなりません。

さらに、町村が自主性・自立性を発揮し、安全安心な地域社会づくりを進めていくためには、何よりも財政基盤の強化が不可欠であり、安定した財源の確保、とりわけ町村の生命線ともいべき地方交付税の確保が重要であります。

令和7年度地方財政対策では、前年度を上回る一般財源総額が確保されたほか、臨時財政対策債が制度創設以降初めて新規発行額ゼロとなり、地方財政にも十分配慮されたものとなりました。

本会といたしましては、全国町村議会議長会と一致協力して、町村を取り巻く諸課題の解決に取り組んでまいりたいと存じますので、皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、全国町村議会議長会の益々のご発展とご列席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和7年2月5日

全国町村会長 吉田 隆行